

令和5年度「幼児教育推進体制の充実・活用強化事業」主な取組内容概要

自治体名：秋田県

【幼児教育に関する現状や幼児教育推進体制の取組の特色等】

秋田県では県及び事業実施8市に教育・保育アドバイザーを配置し、県と市が連携しながら、園種の垣根を越えた研修機会の提供、園の巡回訪問による継続支援など幼児教育推進体制の充実強化を図っている。幼児教育センター（県内3地区を拠点）に、指導主事・幼保指導員を配置し、県全域の市町村が連携しながら各園の保育改善及び保育者の資質向上を支援する体制を構築している。

課題は、アドバイザー配置市とアドバイザー未配置市町村の幼児教育体制に差があること。近隣地域一体で学び合う体制やネットワーク体制を更に充実させる必要がある。

【令和5年度における主な取組内容】

- (1) 市町村教育・保育推進体制の支援
- (2) 幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続の推進
- (3) 教職員の専門性の向上
- (4) 教育・保育推進体制の拡充

【取組内容の具体的な事例】

<市教育・保育アドバイザーの育成及びネットワークの充実・強化>

県教育・保育アドバイザーを核とした市教育・保育アドバイザーの育成・支援やネットワークの構築を図るために、年5回の「教育・保育アドバイザー連絡協議会」や「市アドバイザーに学ぶ研修会」のほか、年6回の「実施市支援訪問を実施しており、園や保育者の課題に対応したよりよい助言や支援の在り方、関わり方等について学び合える機会となっている。また、市や園のニーズに応じた研修会への支援など、県と市が連携した重層的な支援をしている。



【市アドバイザーに学ぶ研修会】

<幼児教育スタートプラン理解啓発リーフレット>

小学校以降の生活や学習の基盤につながる幼児期の教育の重要性を図るリーフレットを作成し、県内5歳児の保護者、就学前教育・保育施設、小学校、市町村福祉部局、市町村教育委員会等に配布した。また、県HPにリーフレットと説明動画を掲載し、広く県民の理解啓発を図っている。



＜幼児教育スタートプラン推進のための
有識者会議の開催＞

幼保小の接続期の教育・保育の質的向上に向けて、「架け橋プログラム」の取組に関して協議する有識者会議を開催し、市町村における組織体制構築や研修会の在り方等について意見等をいただいている。



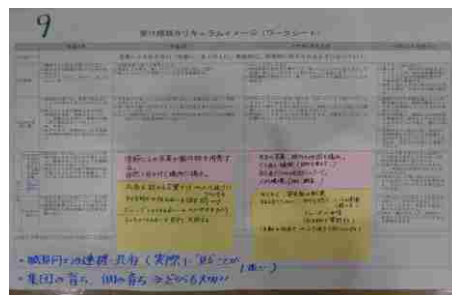
【有識者会議】

＜就学前・小学校等地区別合同研修会の開催＞

県内3地区を会場に、地域における就学前教育・保育と小学校等教育の円滑な接続の在り方について、幼稚園・保育所・認定こども園等と小学校等の教職員間の相互理解を深めるとともに、教職員の資質の向上を図ることを目的とした研修会を開催し、行政説明や協議・演習を通して、接続期の子どもの育ちと学びの共有による双方の教育・保育の理解を図っている。



【就学前・小学校等
地区別合同研修会：中央地区】



【協議・演習～架け橋期のカリキュラム】

＜就学前教育推進協議会の開催＞

学識経験者や市町村代表者等で構成し、地域に適した幼児教育推進体制の在り方や、本県ならではの学びや生活の基盤を支える乳幼児期の教育・保育の内容等について協議する就学前教育推進協議会を開催し、各市町村における幼児教育推進体制の強化に向けた支援等の取組の充実を図っている県内大学関係者、県内教育・保育団体関係者、行政関係者が一堂に介し、地域における幼児教育推進体制の充実・強化について協議できたことは、大きな成果と捉えている。



【協議会】

